

「国語（国語総合）」 解答例

第1問

- 問1 ①分泌 ②判然 ③包含 ④野獣 ⑤探知

問2 昆虫の活動や交通信号などのように、ある特定の記号を使って特定の具体的な反応を引き起こす伝達手段としての使い方。

問3 ネコという言葉で人間は、現実の具体的な猫のみならず、想像上の猫をも自由に思い浮かべる。つまり、ネコと名づけることによって、あらゆる猫を包含した概念として精神内に取り入れ、把握したり想像したりするということ。

問4 現に身を置く具体的な状況から完全に独立して心を働かせる

問5 サインは現実の状況に結びついており、記号Aが対象物Bに直接的な反応を引き起こすことを指す。これに対しシンボルは、現実との結びつきが緩やかで象徴的な働きをするために、受信者の主観や状況によって多様に反応が変わるから。

問6 言語活動は他の記号活動とは異なり、外在物を心内に内在化したり、シンボルとして多次元的な精神世界を開拓したりする働きをもつ。このような言語活動が文化文明を成立せしめる原因になつており、人間固有の特質になつてゐる。

第2問

問1 ①しゅしよう ②しわざ ③だじやく ④さつそく ⑤ほうきゅう

問2 餓鬼大将として叱られるかと思っていたが、逆に先生から感心され、同級生を立派な人間にしていくよう激励されたので。

問3 納得できない。合点がいかない。

問4 一つ間違えば手に負えなくなる餓鬼大将をむしろ褒めて得意にし、その心理を応用して善導するよう、仕向ける策のこと。

問5 同級生の出席、欠席、遅刻、早帰りなどについて、沼倉が秘密探偵を放つて取り締まっており、欠席や遅刻はなくなつたものの、先生に代つて権威を持つた沼倉による独自の制裁が行われているという弊害。

問6 (1)欠席や遅刻をする生徒がいなくなり、また沼倉共和国の人民の富が平均化されて行き、貧乏な家の子供でも、沼倉共和国の紙幣さえ持つて居れば、小遣いには不自由しなかつた点。

(2)秘密探偵が生徒たちの操作を常に監視しているほか、沼倉共和国では独自の紙幣を発行して恣意的に俸給が配布されており、裕福な家の子供たちは、度々大統領の徵発に会つて物品を手放したり、親から貰つた小遣いを物品に換えて無理に沼倉共和国の市場に運ばねばならないから。

第3問

問1 大人びていらっしゃるので

問2 ①女御 ②帝 ③帝

問3 女御があまりにも幼い様子なので、帝は傍へ行くと女御と比較して自分が老人であるかのように思われるから。

問4 帝が、自分の笛を吹く様子を見るように女御に言つたところ、女御は素直に従わずに「笛は音を聞く物で、見る物ではないでしよう」と言い返したので、帝はそのように相手をやりこめてしまうことこそ大人げなく、女御が幼い証であると考えたためこのように言った。

問5 帝が、実際には二十歳ほどであるのに女御との年齢の差を強調して、自分のことを「七十の翁」と表現した点が戯れである。

問6 帝は、女御の幼くかわいらしい様子や、機知に富む振る舞いなどに加え、部屋に焚かれている香やあしらわれている家具、持ち物である小物、歌絵のすばらしさなどにも惹かれている。